

誰かがあくびをしたとき、自分もしたくなることがありますよね。あくびの伝染は、人以外にもチンパンジーなどの霊長類などにも見られることが分かっています。先日、東京大のグループが、人から犬にもあくびが伝染すると発表しました。飼い主のあくびは見知らぬ人に比べて3.5倍の頻度で伝染したそうです。研究グループは、あくびが伝染した際の犬の心拍数に変化がなかったことから、不安やストレスではなく、共感に関連した行動と分析しています。また、犬にあくびがうつるには相手との絆が重要なようだとしています。

あくびの伝染は、相手の感

犬のあくび 大切なコミュニケーション

あ
ん
し
ん
ペ
ツ
ド
ラ
イ
フ
⑱

情への共感を表しているともいわれ、他人の感情を認識できない4歳以下の子供や7カ月以下の子犬には伝染しないことが分かっています。あくびの伝染は、集団生活で周囲と行動を合わせる習性からきており、成長とともに発達していくようです。

犬のあくびは眠いときや退屈なとき以外にも起き、カーミングシグナルの一つといわれています。カーミングとは「落ち着く(calm)」の意味で、相手を落ち着かせるためのしぐさです。つまり、犬は不安やストレスを感じたときにあ

くびをして、相手にも自分にも「落ち着け、落ち着け」とサインを送っているのです。

例えば、飼い主さんに叱られているとき、そっぽを向いてあくびをしていることはありませんか？ それは、怒っている飼い主さんを無視しているのではなく、何とかなだめようとしているのです。

犬は鳴き声だけでなく、さまざまなしぐさや表情で意思や感情を伝えています。皆さんの愛犬があくびをするのはどんなときでしょうか？

(アニコム損保 獣医師 井上舞)